

HADANO MEISUI ROTARY CLUB WEEKLY

例会場 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL(0463)81-1355

事務所 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL(0463)81-1355

例会日 毎週木曜日 12時30分～13時30分

会 長 神崎達朗 幹 事 小清水正義 会報委員長 安部信三



Reach Within to Embrace Humanity
心の中を見つめよう 博愛を広げるために

2011年～2012年度国際ロータリー会長
カルヤン・パネルジー

第1260回例会 2011年11月24日(木)(晴)

司 会 瀬戸 誠副幹事

点 鐘 神崎達朗会長

合 唱 「それこそロータリー」(北村まり子さん)

唱 和 「四つのテスト」(大屋富茂君)

ビジター紹介 内藤 優君(秦野) 石井通生君(秦野中)

祝結婚記念日 中島君(11/27)

祝誕生記念日 <会員>諸星(常)君 <奥様>高橋(秀)君
(11/25) 大屋君(11/28)

会長報告

○ ガバナー事務所より

① タイ洪水被害への義援金のお願い。

ガバナー会より支援の手を差し伸べるよう協力要請がきております。当地区としても是非救援復興に手を貸していきたいと考え、各クラブの皆様へ会員1人当たり1,000円を目安にご協力頂きたいと思います。次週、義援箱をまわします。

② 《重要注意》

「元気になろう日本」プロジェクト事務局から、ロータリーの名前をかたったサプリメント購入のお願いメール(ロータリーとは無関係)

○ 東日本震災復興委員会より「Rの友」11月号に「報告その2」として皆様よりの寄付金(100ドル)の現在までの使途が報告されています。

○ 11/22(火)、鎌倉で「輝く女性の集い」が開催され、

高橋修平増強委員長と共に4名の女性会員が出席して下さいました。ご苦労様でした。

○ 11/23(祝)、第7グループガバナー補佐杯ゴルフ大会が開催され、団体で3位に入賞致しました。

○ 指名委員会を2回開催

「2012～13年度」役員・理事の指名を行い、理事会に報告。細則により年次総会2週間以上前に例会で発表する事になっています。

- | | | |
|-------------|---------|----|
| 1、会長 | 諸星常平君 | |
| 2、副会長 | 河野治男君 | |
| 3、会長エレクト | 桐山晃忠君 | |
| 4、直前会長 | 神崎達朗君 | |
| 5、幹事 | 瀬戸 誠君 | |
| 6、職業奉仕担当理事 | 淵脇美代子さん | |
| 7、社会奉仕担当理事 | 高橋修平君 | |
| 8、国際奉仕担当理事 | 中島賢治君 | |
| 9、新世代奉仕担当理事 | 諸星道治君 | |
| 10、会計(副幹事) | 飯田隆明君 | 以上 |

※12月8日の年次総会で皆様の承認を頂きます。

幹事報告

[週報受理] 寒川 秦野中

[例会変更] 茅ヶ崎

会員数	40名
出席数	29名
出席率	74.36%
前々回の修正	89.74%

メークアップ	[事前] 原君(大阪メジャードナー)
	[事後] 原君(地区) 木村さん(秦野中)

本日のプログラム	12月1日(木)
	○ 卓話 北村(俊)君
	○ 理事会

次週のプログラム	12月8日(木)
	○ 年次総会

スマイル報告

- 内藤 優君(秦野) 「久々にメーキャップさせて頂きます。所用のため早退させて頂きます」
- 石井通生君(秦野中) 「お世話になります」
- 神崎達朗君 「指名委員会のメンバーの皆さん、ありがとうございました」
- 小清水正義君 「秋晴れのいい日です。スマイルします」
- 瀬戸 誠君 「今日の卓話は名水ロータリーの歴史に残る名(?)スピーチになると思います。楽しみです」
- 中島賢治君 「結婚記念日のお祝いありがとうございます。17年目になります」
- 諸星常平君 「誕生祝いありがとうございます。59歳になりました。大台まで真近です」
- 大屋富茂君 「我が家に君臨する女房の誕生日です。皆様にお祝いをして頂き感謝たえません!!」
- 高橋幸雄君 「昨日のガバナー補佐杯、出席ご苦労様でした。スマイルします」
- 岩本英貴君 「先日のガバナー補佐杯、お疲れさまでした。戦力不足でごめんなさい。前君、今日の卓話頑張ってるね」
- 諸星道治君 「昨日のガバナー杯、団体の部で3位でした。名前は言えませんが、あの人が頑張れば優勝したかも」
- 今井茂文君 「昨日の少年野球大会の閉会式には河野委員長、木村副委員長さんには出席ありがとうございました」
- 古谷スミ子さん 「11月22日“輝く女性の集い”に参加いたしました。第7グループでは我が名水クラブが一番多く誇らしい気持ちでした。高橋修平増強委員長のおかげです。ありがとうございました」
- 淵脇美代子さん 「11/22輝く女性の集いに出席させて頂きました。女性会員の増強について大勢の方々の出席、圧倒されました。高橋修平さん、運転お疲れさまでした。ありがとうございました」
- 北村まり子さん 「11月22日に輝く女性の集いに行ってきました。高橋修平さん“美女”に囲まれたご感想は?いかがでした?運転ご苦労様でした。ありがとうございました」
- 梅原正美君 「来月中旬に国際奉仕活動としてフィリピンのパガナ図書館へ行ってきます。治安が良くない所ですが、子供の笑顔と図書館の竣工を引き換えに、スマイルします」
- 前 肇君 「スマイルします」
- 米山君夫君 「なんとなく幸せなのでスマイルします」
- 多田嘉之君 「所用のため早退いたします」
- 相原 宏君 「所用のため早退します」

合計 43,000 円

委員会報告

- 国際奉仕委員会 梅原正美委員長
フィリピンに行くメンバーは例会終了後お残り下さい。皆様をお願い!
- ① 鉛筆、ノート、消しゴム等(文房具)
- ② 不要になった「ノートパソコン」
※事務局までお願い致します。
- R財団委員会 菊池文男委員長
R財団への寄付、11月中にお願い致します
「年次寄付」「ポリオ」「東日本震災復興基金」へ
1人合計 30,000 円
「恒久寄付」(高橋修平君)
※ 東日本震災復興基金は12月末までに納入したクラブは表彰されます。受付は来年6月末日までに延長されました。
- 親睦活動委員会 山口光弘委員長
親睦活動委員会の委員は例会終了後、お残り下さい。クリスマス会の打ち合わせを行います。

卓話

「自己紹介」

前 肇君



本日は、初めての卓話と言う事で大変緊張しています。プログラム委員長に伝えてなかったのですが、私はお酒が入らないと無口だということを…。お酒さえあれば20分から30分は簡単にしゃべれると思うのですが、ですので次回はここにちょっと置いていただければと、、、では、卓話を始めさせていただきます。

初めてなので、自己紹介をさせて頂きます。私は、1969年 昭和44年に酒小売販売業及び八百屋を営む両親の長男としてこの秦野で生まれました。

兄弟は、3人で男ばかりです。幼、小、中、高と秦野で育ち、現在も秦野ですので生粋の秦野っ子というよりも飛

びつきの田舎モンです。このまま行くと3分間スピーチで足りてしまいますので、幼い頃の出来事を加えたい思います。

私の親父は、大変厳しくというよりは、非常に怖い人でした。私が怒られていると近所のひとが警察に連絡したのも、二度や三度ではありません。今で言う児童虐待と言うんですかね、警察の方がこられると、決まって「家には家の躰け方がアンだ!! そんなに心配ならアンタがコイツを育てればいいじゃねいか」と言うような人で、又、小学校低学年では弟と年子だったものですから、毎日兄弟げんかをしていました。いつものように兄弟げんかをしていると、普段は、居る事の無い時間に親父が居てしまいお店から「うるせいぞっコノヤロウー」と怒鳴りながら子供部屋にくる足音がドンッドンッ、それはもう映画ジョーズのテーマソングがながれているような状態です。私と弟は正座をし、尚且つ私は弟の泣声を聞こえなくする為、口を押さえていました。しかし、なかなか部屋に入ってきません、もしかしたらばれなかったのかと思った瞬間、ふすまがバキバキという音とともに倒れてきました。二人の悲鳴とともに親父の怒鳴り声、それは親父がご自慢の日本刀で時代劇のようにふすまを切ろうとしたのでした。もちろんふすまは切れずに刺さった状態で「テメエラ二人いるから喧嘩ばっかりすんだ。一人、間引いちまうから肇こっちに来い」と言い、ぼくかよ!!と私は思いながら、極度の緊張感と恐怖で気絶をしそうになりました。お袋が来てくれなかつたらと思うと、今でもあの後どういう叱りかたをしたのかと思うことがあります。もしかしたら、、弟と酒を飲むとその話を良くします。「おふくろが来なかつたら、兄ちゃん間引かれたんじゃね。でもお袋すげーよな!あの状況で親父怒鳴りつけて、『やるんなら私からやんな』って言ってたもん。親父もこんなボロボロの日本刀で何ができんだって言ってたよな。それよか普通の家庭ではありえねーよな。たかが兄弟げんかで」と笑い話になります。

小学校高学年では、こんな事がありました。小さいときから親父と狩猟に行く事が良くありましたので、山は良く知っていたのですが、四足といって大型動物、鹿や猪などを撃ちに行くようになりました。私は、セコという犬を連れて獲物を見つけ追い出す係りでした。まあ言うなれば、言葉の分かる犬の親分みたいなものです。千葉や埼玉、山梨、静岡と色々な所に犬と一緒に訓練に行ったのでかなり達者でした。犬というのは飼い主といると何倍にも強くなりますが、いないと猪のネカをよけて通ったりしてしまいます。ですのでセコが必要なのです。犬だけではネカから出ない時はセコズツといい地面を撃ち追い出したりします。ので、人間がいないと起きなかつたり、また猪にハスられたりしてしまいます。他の仲間の人たちも、自分の犬を仕込んでもらいたいため、引いてくれと連れて来る位でした。ある日雪が降り、鹿が動いているだろうからと言って、4人の仲間がビーグルを連れてこられたました。犬には獲物

を追いかける特徴があり、ビーグルはウサギやたぬきなどには向いているのですが、鹿撃ちには向いていないと僕は思っていましたので、この人数ではタズ抜かれたらどっかいちやうよ(タズとは、獲物が来ると思われる獣道の見張りそこに獲物が来たら撃つ場所)日本犬などは足が速いのでオツ(まさに獣道)に乗り逃げやすい道に逃げるのですが、ビーグルは追い方が距離を開けて香りを取りながら追うので、鹿が楽に逃げるから人のいるところに慌てていかない為、タズに掛らない掛りにくい、尚且つ犬がひっこい為どこまでも行ってしまうんです。気が付くと迷子みたいな状態になります。鹿を起し追いかけるのが僕の仕事でしたが、犬の回収もある程度は責任がありました。すると案の定タズを抜かれ回収ができませんでした。みんなで飯を食べに行く事になり、1台車を置き迷子でなければ車に戻ってくるだろうと言う事でしたが、1時半ごろ戻ると犬がいません。雪で亀になっちゃってんだろう?とあまり雪が深いとおなかが着いて進めなくなる事を言います。親父が「かわいそうだからもう一度オツを上がってくれねえかと?」懷中電灯を持ち話しかけてきました。ぼくは「今からじゃ日が落ちちゃうかもしれない」と言うと、「大丈夫だ。犬さえ見つければ犬が道を知っている、連れて帰ってきてくれる」と言いました。私の親子関係にノーはありませんでしたので、山に入ることにしました。「僕一人か?」と聞くと他のモンがいくと余計時間が掛る言うことでした。探し始めてからしばらくすると、悲しそうな泣き声がかきこえました。やっと大体の場所を見つける事が出来たのですが、相手が気が付いてくれません。暗くなるから登山道に出るべきなのですが、もう少しで回収できるという気持ちから頑張りみつけた時にはうす暗くなっていました。犬も僕に気が付き大きな声で鳴き、がむしゃらになって僕の方に来るじゃありませんか!! 「なんだ出れるんならもっと早く出て来いよ。お前頼むよ!」と声を掛け、リードを付け登山道に向かい歩き始めた頃には真っ暗になっていました。ライト一つで辺りを見回しても方向がだんだん分からなくなり、「もうだめだ、後はジャッキー頼んだぞ ほれ行けどうした行けってば!」一向に歩き出さないジャッキーにライトを当てると、こっちを向いて首を傾げてるじゃありませんか、「どうしたの 早く帰ろう」みたいな顔をしていました、その瞬間コイツも迷子になっちゃってるということが分かりました。

大変危機的な状況でした。歩いている間に色々なことを考えました。「親父は何してんだろう。まさか帰ってねえだろうな!」とか大体この犬に4WDでありながら雪で滑っているし、他の犬とははぐれる様なちょっと間抜けなこの犬に、大事な息子を託すことの間違いなど...

どこかの登山道に出たときに時計を見ると、7時過ぎでした。右も左も、上も下もわかりませんでした。朝から歩きどうしでもう疲れた...もう座っちゃおう...でもな...と、さらに歩くこと1時間、ジャッキーが突然吠え始めど

こからか犬の泣き声がしました。すぐに僕の犬、黒と駒だと判りました。親父が迎えに来たのだと思い涙が出ました。ありがとう 黒と駒をリードにつなぎ歩き始めました。しばらくしてお父さん来ねえなと思いつつも下山しました。表林道に出て初めて居る場所が把握できました。みんなのところに帰ると、親父の第一声に驚きました。「こんな時間まで何処ほつつき歩いてんだ、みんなに迷惑かけて、あやまれ！」と怒鳴られました。この人は鬼かとそれでなければ僕のことを本当に犬と間違えちゃってんのかなーと思いました。

家に帰ると、風呂沸いてんだろからすぐ入れと言われ風呂に入っていると、親父の声が聞こえました、「アイツすげぞ!!みんなビックリしてたぞ!! 7時間も8時間も雪の山の中歩いて犬連れて帰って来たぞ!!」 僕はその言葉を聞いただけで大満足でした。

中学3年生の時の話ですが、これも凄い出来事でした。僕と友達数人で、厚木の制服屋さんに行きました。すると地元の中学生に絡まれてしまい、僕ともう一人が捕まり、他の友達は逃げました。制服を買いに行った為、普段持ち歩かないようなお金を持っていたので、取られちゃいけないと喧嘩になり、やっとの思いで逃げ出しました。電車の中で友達がカバンを店に忘れた事に気が付いたのですが(そのお店は万引き防止のため入り口にカバンを置いて買い物をしなくてはいけないお店でした)、戻れずに、2、3日たったら取りに行こうという事にしました。すると翌日の夜、驚くことに相手の中学生が持って来てくれました。お袋がお店から「友達が忘れ物とどけにきてくれたよー」と呼んでいましたが、僕のカバンじゃねーし居留守を使い返事をしませんでした。

すると人のいいお袋は「今呼んでくるねー」と言ってるではありませんか。余計な事と思いつつも、大体こんなの友達だったら親泣くぞーと思いながら出て行きました。外に出ると車2台で9人もの中学生がいて、「厚木は都会だから中学生で車乗っていいのか?」とか、「こりゃやばいなー」と思いました。

車に乗れと言われましたが断り、学校まで行くべーと言い、私の家から学校まで遠いのですが、その間に隙を見て逃げちゃおうと考えていましたが、リーダー格の人が「逃げんかもしれないから手錠をしておけ」と。「ばれてらーみたい。コイツ察しがいい。もう覚悟を決めて暴けちゃおうかな、でも手錠されてるしな。謝っちゃおうかな。でも許してくれねえよな。パトカー来ないかなー」と思っていました。すると車のライトが近づいてきます、ラストチャンスだと思ったらなんと親父でした。

「どうした困ってるみてだな? 助けてやんべかー?」
僕が ウン と言うと車から降り、

「兄ちゃんたちまずそれ外せ」と手錠を外させ、僕が車に乗ってイイのかなーと思っていると、両手につばを掛け手もみをし、まさかと! 思った矢先 「気合一発かかって

こい」と。僕にして見ればそんな助け方かよー!!と驚きましたが、何してんだよー。「いやお前一人じゃ無理だから手助けすんじゃねえか」 この人はホンマモンの馬鹿だと! 思いましたね。 また、相手も馬鹿だから本気で喧嘩です。その後、赤燈が見え、まあ、消防団の夜回りだったんですが、軽トラックにみんな乗せ自宅に帰り、自動販売機でジュースを買い、みんな家に上がり、親父が「喧嘩なんかスナ。痛いだけじゃねえか、仲良くしろ」と。つい5分10分前お前がしてたんじゃねえかと思いつつも、しばらく話した後、じゃ、気つけて帰れよと帰りました。「最近の若い奴はいい車乗ってんなーありや自分の車か?」「そりゃねえよ だって中学生だぞ」「そりゃすげーや、ろくなモンじゃねーな」と。僕が「普通あそこで大の大人が喧嘩すんか?」と聞くと「オメェズーと逃げるつもりか?きつかけえありや友達になれんだ。でもアイツラと友達になるな。ろくなモンじゃねえ〜から」 それから今でも友達でいます。

このままじゃ親父の自己紹介になってしまうので、次回数年後卓話の機会がございましたら、僕の高校生から現在までの紹介をさせていただきます。



■ 11月22日 “輝く女性の集い” に参加いたしました ■

